



▲みんなで決めたロゴデザインのデータを渡して、パソコンに取り込んでもらっています!! (みんなちょっとドキドキ)



▲工作の前に、ファブスペースがどんな場所なのか。レーザー・カッターやUVプリンター、3Dプリンターが、どんな機械なのかを説明していただきました。



▲まずは、ファブスペースの受付で、スタンプづくりのキット(2個入り)を購入しました。



▲一度にレーザーで削れる深さは決まっており、何度も繰り返し削ります。「めぐる」の記念スタンプは、3度同じ行程を行いました。開始直後、ゴムが焼けて火が出ました。編集員一同が驚きの声が上がりました。



▲こちらはパソコンの画面です。パソコンでも取り込んだスタンプのイラストや文字の位置を微調整しました。写真のモニター上に映っている画像を見ると、どこまで進んでいるのかが一目で分かります。



▲スタンプを彫り始める前に、ゴムの板を置く位置を微調整しています。1mmでもずれてしまうと仕上がりがキレイに出来ないで、何度も調整を繰り返して位置を決め、いよいよスタートします。



▲完成したプレミアムロゴのスタンプを、早速押してみました! コオリティの高いスタンプに全員が「おお!!」という声が。思わずケータイで写真を撮ってしまいました。



▲スタンプ台との接着作業中です。ひとつひとつの作業を丁寧に進めていきました。



▲ゴムの板が彫り終わりました。正方形の型にピッタリと収まったロゴ。完成度が高く、早く押したくなる作品ができました。



●精密機械をスタンプづくりに使うことに驚きました。特に赤外線を使ってスタンプを作ると聞いたときは意外でした。だって、赤外線って漫画に出てくるセンサーみたいになるやつですよ? 使う場所って限られていると思ってたんですけど、目の前で材料の表面を焼いて削る様子を見てびっくりしました。(晴香) ●自分たちで作ったデザインをスタンプという形にできたことがすごく嬉しかったです! スタンプづくり自体も楽しかったです!! (由唯) ●ロゴ案を決めることからスタートしたこの企画。最初は初めて顔を合わせるメンバーに緊張していましたが、記念スタンプ制作を通して、仲を深めることができたので良かったです。(彩葉) ●見たことのない機械で、僕たちが考えたロゴが彫られるのがとても面白かったです。作業を進めるうちに、中学生と高校生の壁がなくなったのでとても楽しかったです。(龍輝)

「ファブラボ」「ファブスペース」とは

●ファブには、「Fabrication (ものづくり)」と「Fabulous (楽しい・愉快な)」の2つの単語の意味がかけられています。いろいろなものをつくることを目的に、3Dプリンターやカッティングマシンなど、さまざまな工作機械を備えています。市民が自由に利用できることが特徴で、個人の希望に応じて、「もの」をそれぞれが作り出せる場所です、全国にあります。

技術指導をしてくださった
浅古綾香さん

